

- 問1 16世紀のポルトガルによる日本への鉄砲伝来やキリスト教の布教は、当時のヨーロッパにおける宗教的情勢と深く関わっています。カトリック諸国がアジアへの進出を強めた背景について、正しい用語を組み合わせた説明を選びなさい。 (2021年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. ルネサンスの影響で誕生したプロテスタントが、カトリックを国外へ追放するために海外進出を支援した。 | 2. 宗教改革によって誕生したプロテスタントに対抗し、カトリックが海外進出を通じて勢力拡大を図った。 | 3. 十字軍の遠征によってカトリックが衰退したため、新しく誕生したプロテスタントが海外貿易を主導した。 | 4. 宗教改革を弾圧したカトリック諸国が、プロテスタントと協力してアジアでのキリスト教布教を進めた。 |
|---|--|---|--|
- 問2 フランシスコ・ザビエルによる日本での活動に関する説明として、最も適切なものはどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|-----------------------------|
| 1. 織田信長と会見し、京都での布教と南蛮寺の建設を許された。 | 2. 大名らに勧め、天正遣欧少年使節をローマへ派遣させた。 | 3. 1549年に鹿児島へ上陸し、キリスト教の布教を始めた。 | 4. 種子島に漂着し、領主の種子島時堯に鉄砲を伝えた。 |
|---------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|-----------------------------|
- 問3 室町時代後期から戦国時代にかけて、実力で領地を拡大した戦国大名たちが、幕府の法律に頼らず自らの領国を統治するために独自に定めた法律を何と呼ぶか、正しい名称を選びなさい。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|----------|-----------|
| 1. 御成敗式目 | 2. 分国法 | 3. 武家諸法度 | 4. 公事方御定書 |
|----------|--------|----------|-----------|
- 問4 室町時代の後半から戦国時代にかけて、各地で戦国大名が勢力を伸ばした背景として最も適切な説明はどれですか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 幕府が各地の有力な農民に領地を分け与え、新しい支配層として育成したため | 2. 朝廷の権威を重んじる「尊王攘夷」の考えが広まり、幕府を打倒する勢力が現れたため | 3. 幕府の権威が衰え、身分の低い者が実力で上の者をしのぐ「下剋上」という風潮が強まったため | 4. 特定の家柄のみが政治を独占する「門閥政治」が行われ、それに反発した新興勢力が台頭したため |
|--|--|--|---|
- 問5 戦国大名が領地の生産力を高め、軍事力を強化する(富国強兵)ために行った政策の説明として、正しいものはどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 農民に「五人組」を組織させて連帯責任を負わせることで、年貢の納入を確実なものにしようとした。 | 2. 大規模な治水・灌漑工事を行って新田開発を進めるとともに、金山や銀山などの鉱山開発を積極的に行った。 | 3. 領内の商人を城下町に集めるのではなく、各地の農村に分散させて住まわせることで、地方経済の安定を図った。 | 4. キリスト教の布教を全国的に推奨することで、ヨーロッパの先進的な武器や文化を組織的に取り入れようとした。 |
|---|--|--|--|
- 問6 15世紀末、ポルトガルの航海者がアフリカ大陸南端の喜望峰を回ってインドに到達したことで、ヨーロッパからアジアへの直接的な海上ルートが確立されました。この人物が切り開いた「インド航路」について述べたものとして、最も適切なものを答えなさい。 (2017年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|
| 1. フェルディナンド・マゼランが、世界一周航海の一環として立ち寄った。 | 2. マルコ・ポーロが、陸路でアジアを訪れた帰路に発見した。 | 3. クリストファー・コロンブスが、西回りでアジアを目指す途中に到達した。 | 4. バスコ・ダ・ガマが、香辛料などの交易を目的として到達した。 |
|--------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|
- 問7 15世紀に発生した応仁の乱以降、室町幕府の権威が衰退したことで、家臣が主君を倒したり、地方の武士が守護大名を追放したりして実権を握る事例が全国で見られるようになりました。このように、実力のある者が上の身分の者の地位を奪う社会的な風潮を何と呼びますか。 (2018年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|-------|---------|
| 1. 版籍奉還 | 2. 下剋上 | 3. 一揆 | 4. 尊王攘夷 |
|---------|--------|-------|---------|
- 問8 16世紀の記録において「長さ二、三尺の筒状の道具で、火を放つと雷のような音がする」と描写された武器が、日本の築城技術に与えた影響として正しいものはどれですか。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 鉄砲による火災を防ぐため、城の周囲に広大な水堀を作るのをやめ、空堀が主流となった。 | 2. 鉄砲の重さに耐えられるよう、城の主要な構造物がすべて巨大な岩石のみで作られるようになった。 | 3. 鉄砲の射程距離を避けるために、城はすべて人里離れた険しい山頂にのみ築かれるようになった。 | 4. 鉄砲の威力に対抗するため、高い石垣や厚い壁、複雑な堀を備えた城が築かれるようになった。 |
|--|--|---|--|
- 問9 日本の歴史における主要な出来事を時系列で整理したとき、鎌倉幕府の成立、室町幕府の成立、応仁の乱に続いて、16世紀に発生した出来事としてふさわしいものはどれですか。 (2020年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|---------------|----------------|------------------|
| 1. 御成敗式目の制定 | 2. 種子島への鉄砲の伝来 | 3. 元寇による博多への侵攻 | 4. 日明貿易(勘合貿易)の開始 |
|-------------|---------------|----------------|------------------|
- 問10 室町時代後半から戦国時代にかけて見られた、身分や立場が下の者が、実力によって上の者に打ち勝ち、その地位を奪う社会的な風潮を何といいますか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|---------|----------|
| 1. 下剋上 | 2. 尊王攘夷 | 3. 一向一揆 | 4. 御成敗式目 |
|--------|---------|---------|----------|
- 問11 1543年にポルトガル人を乗せた船が漂着し、日本に初めて鉄砲が伝えられた場所はどこですか。その地理的な位置関係を示す説明として正しいものを選んでください。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|------------------------------|
| 1. 九州地方の北部に位置し、大陸との交流が盛だった福岡県の博多 | 2. 四国地方の南部に位置し、太平洋に面した高知県の土佐清水 | 3. 関東地方の東部に位置し、東京湾の入り口にあたる千葉県のパウ質 | 4. 九州地方の南端に位置する鹿児島県の離島である種子島 |
|----------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|------------------------------|
- 問12 16世紀後半、甲斐や信濃の一部では「甲州ます」と呼ばれる独自の枡が使用されていました。中央の京で使われていた標準的な枡と容量が異なる「甲州ます」のような度量衡が地域ごとに存在していたことは、当時の政治体制についてどのようなことを示唆していますか。 (2020年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 海外貿易を円滑に進めるため、輸出入の拠点ごとに異なる計測単位を用いることが幕府より推奨されていたこと | 2. 足利義昭が強力な権力によって全国の度量衡を統一し、各地域の経済活動を完全に管理していたこと | 3. 農業技術が未熟であったため、収穫量を正確に測るための全国一律の基準を作る必要性がなかったこと | 4. 天皇を中心とした中央集権的な政治体制が、全国的な経済基準を統一するまでには至っていなかったこと |
|---|--|---|--|
- 問13 16世紀半ばにキリスト教が日本に伝えられた当時の社会情勢や、その後の歴史的経緯について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. フランシスコ・ザビエルによる布教以降、南蛮貿易の利益を求める戦国大名の中には、キリスト教に入信するキリシタン大名が現れた。 | 2. 当時の日本は鎖国体制が完成しており、ヨーロッパ諸国のうちイギリス一国とのみ、長崎の出島で貿易を行っていた。 | 3. 豊臣秀吉は海外貿易の利益を重視し、バテレン追放令を出した後もキリスト教徒を一貫して手厚く保護し続けた。 | 4. 織田信長は仏教勢力との対抗を優先し、キリスト教の布教を厳しく禁じてキリスト教徒を弾圧した。 |
|--|--|--|--|